

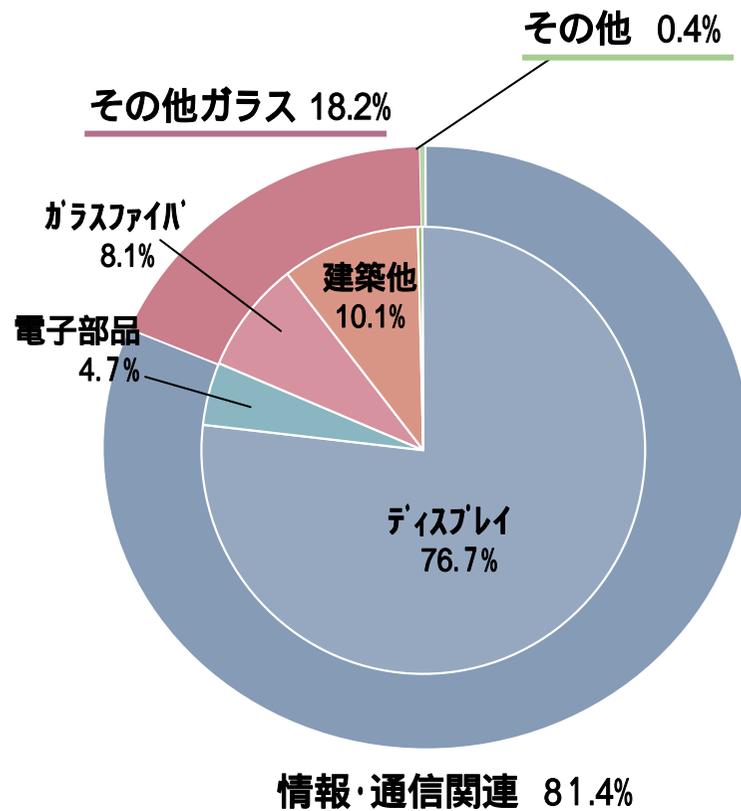
2008年3月期中間決算説明会

2007年10月25日

日本電気硝子株式会社

日本電気硝子の概要

売上構成：08 / 3期中間



主要な事業内容

情報・通信関連	ディスプレイ用ガラス	FPD	LCD：基板ガラス、バックライト用ガラス PDP：基板ガラス、ガラスペースト
		その他	ブラウン管用ガラス
	電子部品用ガラス	光関連	光ファイバ接続用キャピラリー/フェルール 球レンズ/レンズ部品 / 非球面レンズ 硝材
		電子デバイス用	粉末ガラス 板ガラス 管ガラス
その他	ガラスファイバ	ガラスファイバ	機能樹脂用チョップドストランド プリント配線基板用ヤーン 強化プラスチック用ロービング 耐アルカリ性ガラスファイバ
		建築用他	建築用
	建築用他	耐熱用	超耐熱ガラス<ネオセラム> 耐熱ガラス<ネオレックス>
		その他	照明用ガラス 医薬・理化学用管ガラス 魔法びん用ガラス

2008年3月期中間連結決算のポイント

増収・最高益

- ・液晶用基板ガラス中心に販売拡大・生産性改善
- ・期初予想上回り、中間営業・経常利益ともに最高益更新
- ・営業利益率25.5% (1Q: 22.7% 2Q: 28.1%)

CRT減損

- ・マレーシア・福建設備およびインドネシア子会社解散に係る減損損失
- ・前年同期に比べ損失額は大幅に減少(70億円余り)

総資産増加

- ・積極的な設備増強(FPD、ガラスファイバ)に伴い有形固定資産増加

財務体質改善

- ・有利子負債残高 / 連結売上高 = 07/3末 35% 07/9末 32%
- ・株主資本比率 = 07/3末 52% 07/9末 54%

キャッシュ・フロー

- ・営業CFは前年同期並みレベルに。一方、積極的な設備拡充投資により投資CFも前年同期並みに

連結損益計算書

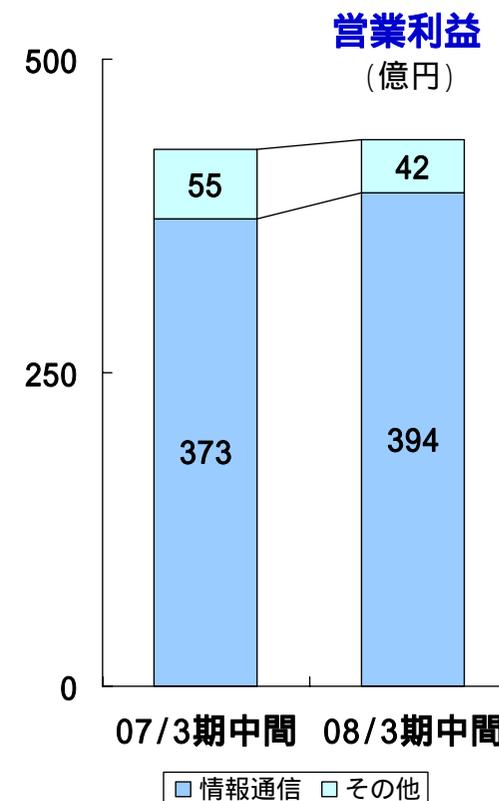
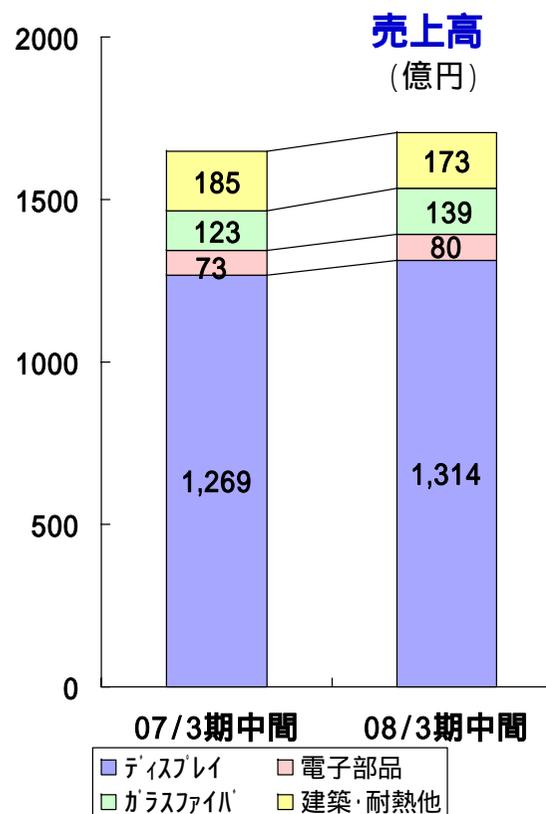
(単位:億円)

	07/3期中間	08/3期中間	増減(%)	08/3期中間のポイント
売上高	1,659	1,714	3.3	液晶用基板ガラスが牽引 (プラス要因) ・販売増加 ・生産性改善 (マイナス要因) ・製品価格の下落 ・原燃料価格の上昇 ・減価償却費など費用増加 (特別損益の主な内容) ・UK旧子会社清算益(20億円) ・CRT減損(インドネシア 11億円、 マレーシア・福建 31億円)
営業利益	429	436	1.7	
営業外損益	21	11		
経常利益	408	424	4.0	
特別損益	119	30		
税前利益	289	394		
法人税等	76	187		
少数株主損失	0	5		
当期純利益	213	211	0.7	

部門別(ガラス事業)の状況

(単位: 億円)

	07/3期 中間	08/3期 中間	増減 (%)
ガラス事業	1,652	1,708	3.4
情報・通信関連	1,343	1,395	3.9
ディスプレイ用	1,269	1,314	3.5
電子部品用	73	80	9.5
その他	309	312	1.2
ガラスファイバ	123	139	13.5
建築・耐熱他	185	173	7.0
その他	7	6	9.5
合計	1,659	1,714	3.3



ディスプレイ:

FPD ~ LCD基板ガラスが売上増の牽引役に。PDP基板ガラスやCCFL用は価格下落などの影響を受ける

CRT ~ 事業縮小 + 市況低迷で減少

電子部品用:

イメージセンサ用好調

ガラスファイバ:

自動車部品向け高機能樹脂用を中心に堅調

マレーシア子会社増設設備が7月から稼働、下期から寄与

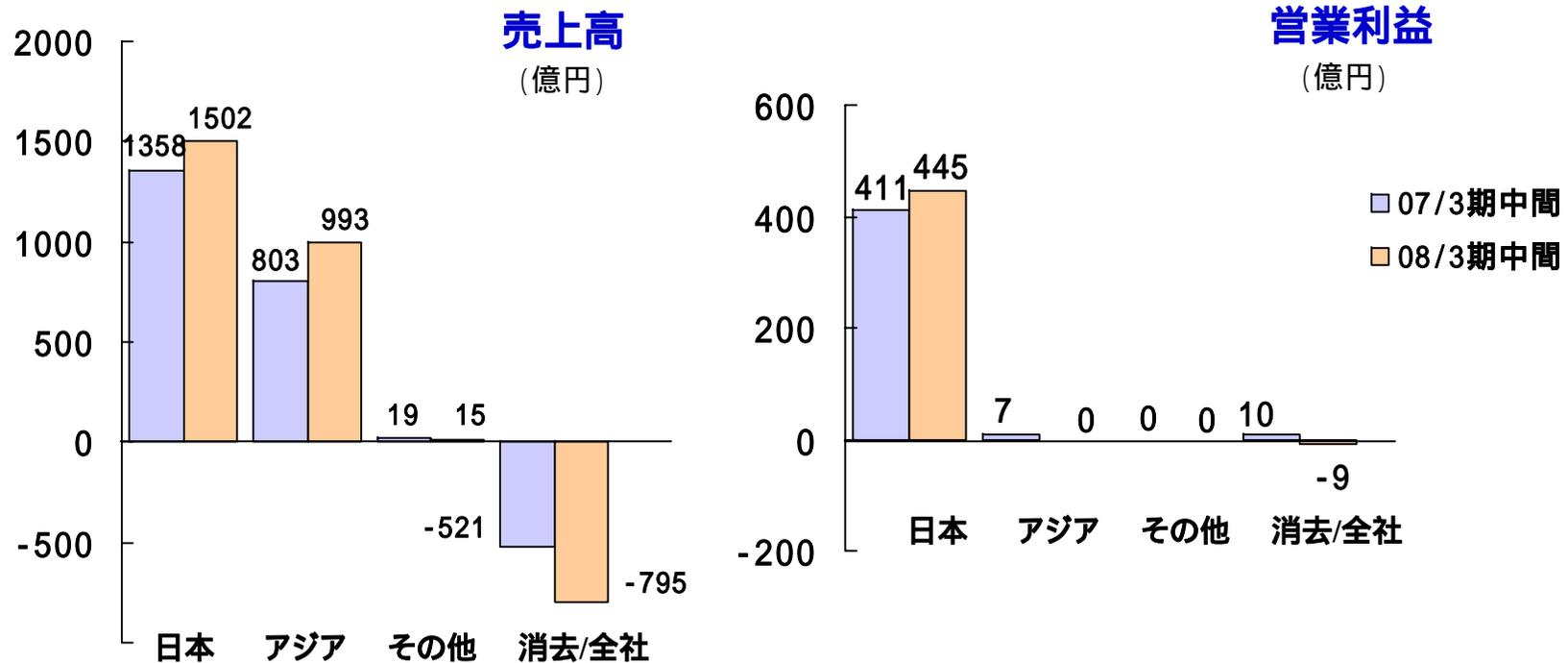
建築・耐熱他:

全般的に伸び悩む

所在地別セグメントの状況

所在地別売上高・営業利益

(注) 日本以外の区分に属する主な国・地域
 ・アジア ……マレーシア、中国、韓国、台湾
 ・その他 ……米国



日本: FPD売上・利益増加

アジア: CRT減収・赤字 液晶加工拡大・利益寄与

連結貸借対照表

(単位:億円)

	07/3末	07/9末	増減
流動資産	2,087	2,131	44
現金・預金	853	795	58
受取手形・売掛金	728	798	69
たな卸資産	397	401	3
その他	106	135	28
固定資産	3,109	3,295	185
有形固定資産	2,746	2,996	250
無形固定資産	8	8	0
投資その他の資産	354	290	63
合計	5,197	5,426	229

	07/3末	07/9末	増減
負債	2,431	2,442	11
支払手形・買掛金	473	465	7
借入金	1,162	1,149	13
未払金	307	331	24
未払法人税等	158	165	6
その他	329	330	1
純資産	2,765	2,984	218
株主資本	2,636	2,827	191
評価・換算差額等	82	113	30
少数株主持分	46	43	2
合計	5,197	5,426	229

ポイント

流動資産: ・現金・預金 ~ 設備支払増など ・受取手形・売掛金 ~ 販売増

固定資産: ・有形固定資産 ~ FPD・ガラスファイバ設備増、CRT設備減
・投資有価証券 ・繰延税金資産 ~ UK旧子会社清算

負債: ・借入金 ~ 短期借入金減、売上高(通期予想)に対する有利子負債比率32%
・未払金 ~ 製造設備関係増 ・特別修繕引当金 ~ 積み増し

純資産: ・株主資本 ~ 利益剰余金増加、株主資本比率54%

連結キャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	07/3期中間	08/3期中間	増減
営業活動によるキャッシュフロー	369	349	19
税前利益	289	394	
減価償却費	153	171	
減損損失	116	42	
売上債権の増加額	93	55	
仕入債務の増加額又は減少額()	70	25	
法人税等の支払額	154	160	
その他	11	17	
投資活動によるキャッシュフロー	404	392	12
固定資産の取得による支出	446	426	
その他	41	34	
財務活動によるキャッシュフロー	38	37	1
長短借入金の増減	23	15	
その他	15	22	
現金等に係る換算差額	7	22	
現金等の減少額	66	58	8
現金等の期首残高	863	853	
連結除外に伴う現金等の減少額	57	-	
現金等の期末残高	739	795	56

ポイント

営業CF:

- ・税前利益 (+104億円)
- ・CRT縮小費用 (-73億円)
- ・仕入債務 (-95億円)

投資CF:

- ・FPD、ガラスファイバ設備拡充

フリーCF: -42億円

財務CF:

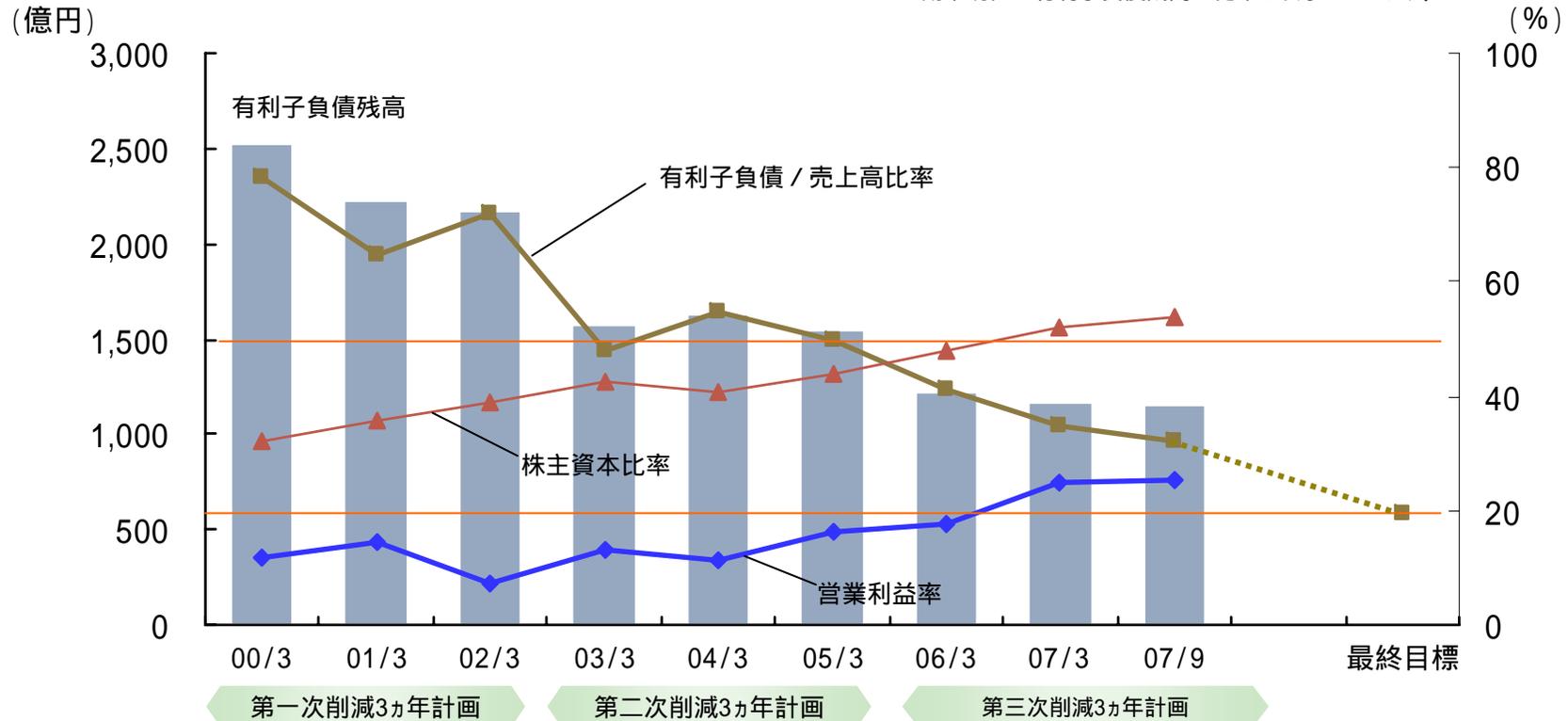
- ・長期借入、短期借入

財務体質の強化

有利子負債・株主資本比率・営業利益率の推移

(注) 07/9 有利子負債 / 売上高比率:

便宜的に08/3期(通期) 予想売上高に対する当中間期末現在の有利子負債残高の比率を表示しています。



経営体質の改善進む

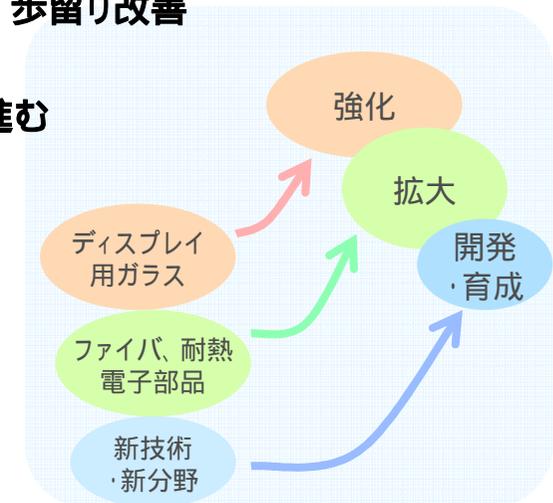
- ・有利子負債はさらに減少(有利子負債 / 売上高比率32%に)
- ・株主資本比率54%
- ・営業利益率は25%台を維持

2008年3月期の見通し

対応すべき課題

コア事業の強化

- L C D** ・需要拡大 ~ 既存設備の能力拡充、新窯(年末稼働)の戦力化、歩留り改善
 ・大型化 ~ 8G対応済 より大型サイズの対応推進
 ・グリーン ~ Asフリー対応済 よりグリーン度高めたガラス開発進む
- P D P** ・収益改善、得意先増産に対応
- C R T** ・収益改善、市場動向に即した生産再編



バランスとれた事業構造の構築

- ファイバ** ・自動車向けやARGに注力、生産能力増強
- 耐熱** ・結晶化ガラスなど優れた特性活かし用途開発
- 電子部品** ・イメージセンサや光関連事業強化、先端製品の開発推進

将来を見据えたR & Dの推進

- 最近の事例:
- 超大型技術** ・FPD用超大型基板ガラス、PDPパネル焼成工程用超大型セッター
 - 超薄型技術** ・オーバーフロー法による超薄板ガラス(厚さ 数十 ~ 100 μm)
 - NONガラス** ・薄膜 ~ PDP基板ガラス透明電極、光学製品、カラーリング技術など
 ・ガラス + 金属 / 樹脂 ~ 光関連製品、防火設備用ガラスなど
 - 光材料** ・LED用蛍光ガラス

経営体質の強化

- ・キャッシュフロー重視の経営、財務体質の強化

連結通期業績予想

(単位:億円)

		07 / 3期	08 / 3期(予想)	
		通期(実績)	中間期(実績)	通期(予想)
売上高		3,364	1,714	3,600
情報通信	ディスプレイ用ガラス	2,568	1,314	2,750
	電子部品用ガラス	148	80	160
その他	ガラスファイバ	262	139	320
	建築・耐熱その他	369	173	360
その他		14	6	10
営業利益		845	436	800
経常利益		814	424	750
特別損益		180	30	
当期純利益		403	211	430

1株当り年間配当金	11円	8円
-----------	-----	----

株式分割(1:1.5)を2007年4月に実施、分割前基準では1株当り12円

ポイント

(事業環境)

FPD: 市場拡大基調も需要・価格動向など
先行き不透明

CRT: 市場縮小が続く

ガラスファイバ: 需要旺盛、新設備が下期
寄与

電子部品・耐熱: 堅調な環境見込む

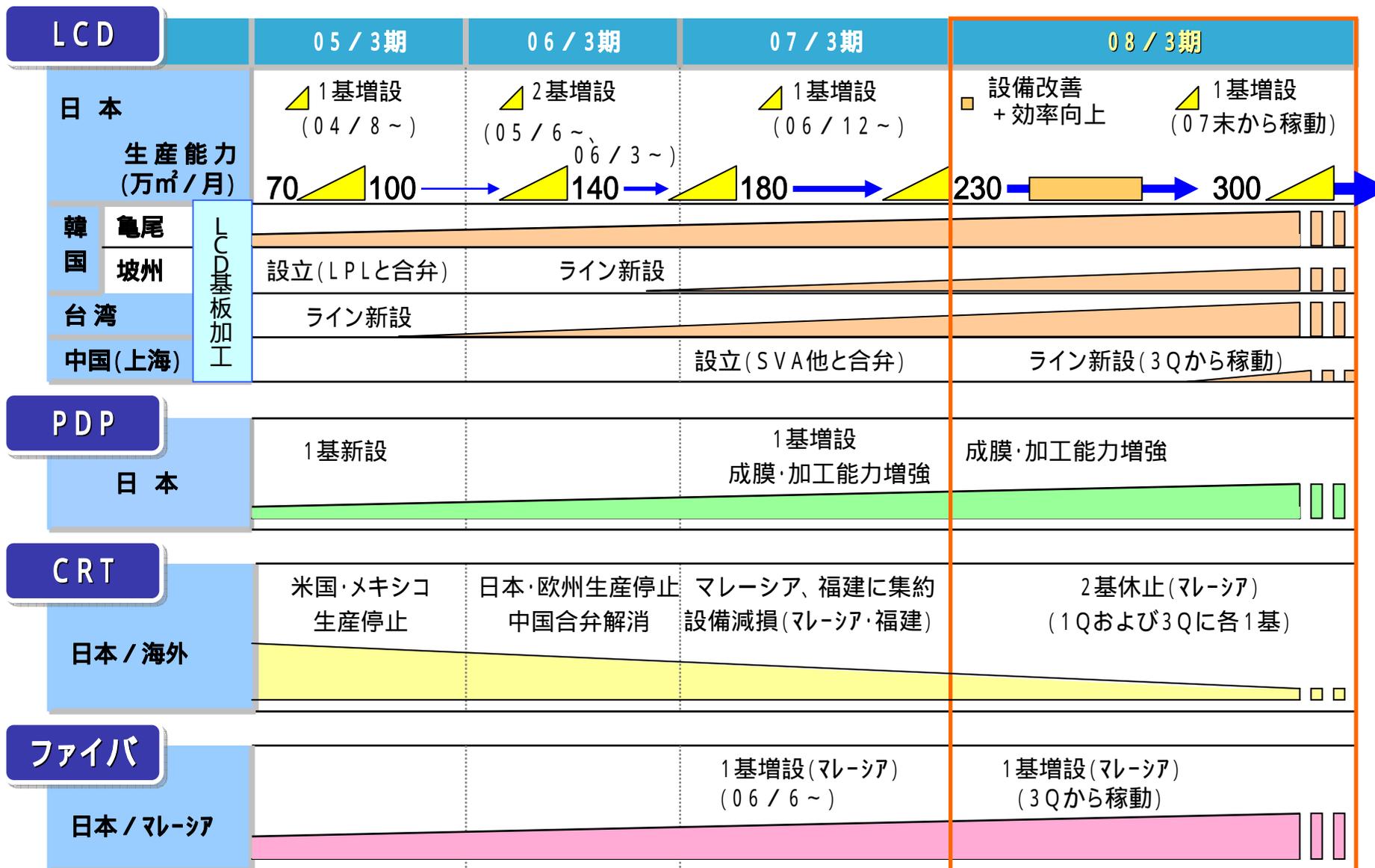
(懸念材料)

- ・需要動向、価格動向
- ・新設備の立上げ
- ・生産性改善の今後の進捗
- ・設備拡充などに伴う諸費用の増加
- ・原燃料価格のさらなる上昇

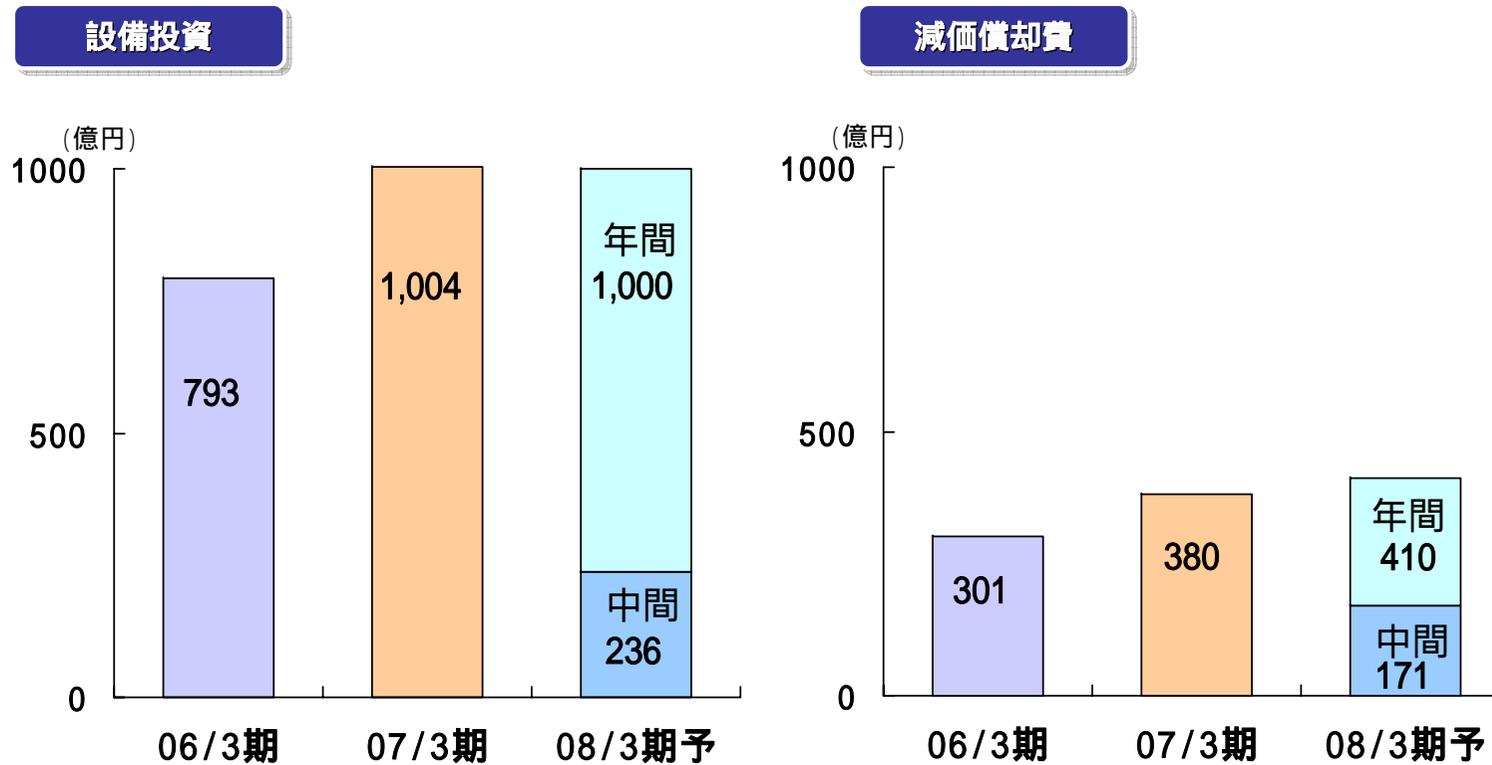


期初業績予想を据え置く

付属資料～主な事業展開の状況



■ 付属資料～設備投資・減価償却の見通し



設備投資: FPD関連、ガラスファイバなど高水準の投資継続

減価償却: 設備投資拡大 + 税制改正等に伴い増加

予想に関する留意事項

本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。